

# 博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡 / 湯之奥・中山金山

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館報



## 2011年、夏 博物館も砂金採りも大フィーバー

実験教室から始まった博物館恒例夏イベント。7月末のこども金山探険隊、8月上旬の砂金掘り大会&東中高交流砂金掘り大会と、今年も大盛況でした。イベントが終わって、お盆に入り、夏休みも本番という頃になると、多くのご家族連れのお客様がおいでくださいましたが、そこに飛び込んできた金価格高騰のニュース。金を扱う施設としては、気が気ではなかったのですが、このニュースを受けて、マスコミ各社が金業界に注目。当館も撮影・取材で、テレビにラジオに幾度となく取り上げていただきました。夏休みというタイミングもぴったりのかったのか、極めつけはテレビ朝日「モーニングバード」の生中継放送直後から、怒濤の来館者が！「金価格高騰で“砂金採り体験”がブーム！」という思わぬ恩恵で、8月期過去最高の来館者5,432人を記録することが出来ました。多くのお客様に、博物館を知っていただくことが出来、またご来館いただきまして、誠にありがとうございました。これから秋の行楽シーズンを迎えますが、今秋のドライブや旅行計画には是非、お立ち寄りください。

# 金山史研究の原点

## 全国金銀山の鉱山道具の集成の必要性

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 谷口 一 夫

初期産金地と推定される地点に考古学の発掘調査が入ったのは、昭和32年、東北大学考古学教室（伊東信雄教授）によってである。その地は8世紀中葉の宮城県黄金迫地内の延喜式内黄金山神社境内であった。

当地は続日本紀天平二十一年二月二十二日の条にみられる「陸奥国より始めて黄金を貢す。ここにおいて幣を奉ってもって畿内七道の諸社に告ぐ」と記された遺跡とされる。その神社境内の調査では鉱山道具は出土せず、「天平・・」の篋書の丸瓦と、調査とは別時期に神社下を流れる小川から「天・・」と篋書された、瓦製宝珠が発見されたことから、その地が8世紀中葉の産金地として認められ、国指定史跡「黄金山産金遺跡」となっている。

それから、30年後の昭和61年～平成元年、東京大学文学部（今村啓爾助教授＝当時）らによる甲州市（当時塩山市）にある黒川金山遺跡に考古学が入る総合調査が、平成元年～3年には帝京大学山梨文化財研究所らの身延町（当時下部町）の湯之奥金山（中山金山）遺跡において、考古・文献・民俗学などの学際的総合調査が行われ、鉱石から産金された初源期山金山遺跡が明かとなった。そして平成9年には、「甲斐金山遺跡（黒川金山・中山金山）」として国指定史跡となった。因みに同年、甲斐金山遺跡のガイダンス館として当館は開館した。それは、これまで文献史学者による金山史研究時代から考古学が参入し新たな視点で金山史（遺跡）研究の開始を告げるものだった。近年では世界遺産

登録で石見銀山が、また同じく登録をめざす佐渡が4つの金銀遺跡発掘調査を精力的に進めていることで、漸く列島規模で文献史学と考古学連携による金山遺跡（史）研究の発展が見えてきた。

### 考古学による基礎資料の集成

考古学の参入は、必ずしも記録に残されていない重要な発見を見いだすことができる。発言史料である文字史料は、全てが残されているわけではなく、考古学の現場に残された遺跡遺物は沈黙資料ではあるが、真実が残されている。その発掘調査で得られた資料を、「局地的」、「広域的」に資料分析することで、日本列島内における8世紀からの砂金採掘や16世紀初頭から始まった山金遺跡の実態、その後の近世に発展していく鉱山技術への姿が明らかとなる。とりわけ山金には鉱石を粉成す道具の出現がある。挽き臼の再検討を含め、先ずは全国規模での鉱山道具の集成図録が、これからの研究の発展の基礎資料として必要だ。



写真の資料は湯之奥・中山金山から出土の「湯之奥型挽き臼」だが、供給孔部分が一段落ち込み段差がある。このように湯之奥型挽き臼にもいろいろなタイプがある。

## 活 動 報 告

### 第3回科学実験教室

7月23日(土)

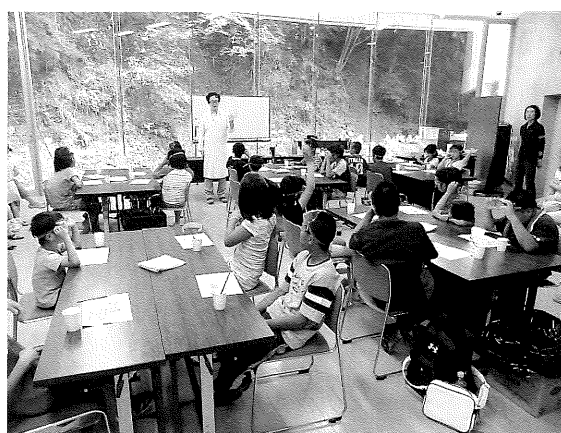
毎年恒例の「夏休み自由研究プロジェクト」が7月18日に甲府のアイメッセにおいて開催され、山梨県下の博物館・美術館がプレゼンを行ったその週から、いよいよ夏休み突入。当館での夏休み事業も毎年恒例となった科学実験教室から始まりました。

子どもたちに体験的な実験を通して化学を学ぶ楽しさを知ってもらう絶好の機会として開催してきました「科学（化学）実験教室」は、今年で3年目。夏休み自由研究の提供の場として、また金山博物館を広く知っていただく機会として活用してほしいという、講師の宮本一弘先生（東京・開成学園教諭・理科学部顧問）の熱意の中、町内外から延べ60人の子供達が集まり、今年も全ての実験が定員に達した大盛況の中での開催となりました。また同伴のお父さんやお母さんも一緒に不思議体験が出来る場面もあり、会場内は大盛り上がりでした。

昨年と同じ実験でもバージョンが変わったものであったりと、宮本先生が工夫してくださっ

ており、化学が身近にあることを分かりやすく説明解説してくださり、参加した子どもたちは“化学”ならではの小さな不思議に歓喜の声を上げ、「実験が好きになった。科学をもっと知りたい」という感想がたくさん寄せられました。

宮本先生も、みんなに化・科学の楽しさを伝えることが出来る機会を作っていただき大変嬉しいとおっしゃってください、来年度への開催にも意欲を見せてくださいました。



### 佐渡市・新潟市での講演会&現場査察

7月2日(土)、3日(日)

甲斐金山についての講演依頼は年間通して幾つも頂戴しますが、この7月には佐渡金山の関係者より谷口館長に講演依頼をいただきました。講演主催は、新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室と佐渡市世界遺産推進課で、7月2日は佐渡市、3日には新潟市において、「佐渡金山への序章」と題し、谷口館長が16世紀初頭の甲斐金山遺跡の全容と、これからの研究課題を織り交ぜて、甲斐金山の山金開始時期から数えて、概ね100年後（17世紀）の佐渡金山遺跡群にどのような姿・形で、甲斐金山の産金技術などが伝わっていったか、佐渡金山現地を見た考察を加えながら講演をされました。

また谷口館長は、佐渡金山遺跡に対する率直な感想を次のように述べられました。

「この講演に先立ち、佐渡・鶴子銀山遺跡、道遊の割り戸、西三川砂金山、上相川遺跡（初期鉱山町跡）、史跡・旧佐渡鉱山近代遺跡等々

の調査現場の全容と、世界遺産登録に向け調査を担当している両者の文化財調査担当者から、多忙の中を鉱山遺跡の全容を知る現地案内を詳細にいただきました。金を中心とする佐渡鉱山の遺跡群は、絵図なども豊かに残されているばかりか、その現場が絵図通りに残されていることに驚きました。

それら遺跡群に、佐渡金山の前夜とも言える“甲斐金山遺跡”の技術がどのような形で見ることが出来るか、甲斐金山遺跡（黒川・湯之奥）の目線で、観察をして参りました。上相川にはその残像を確認しましたが、江戸期の規模は巨大、まさに日本の金銀鉱山産業発展への最先端を走り抜いてきた想像を遙かに凌ぐ複合的な金銀山遺跡の姿、複合的な巨大な遺構群には大きな感動を受けました。現在進められている数々の調査結果が集約されれば、世界遺産登録も早い時期に決定するだろうと、強く感じました。」

## 各メディア報道の結果、過去最高月間入館者5,432人を達成！

8月期の過去最高入館者記録は、NHK大河ドラマ『風林火山』が放送された2007年の4,672人でした。この記録を1,000人近くも超えた今年の来館者増の理由は、皮肉にも円高や株価下落の影響で投資家が安定している金への投資に移行したことによる金価格の高騰でした。1g/4,900円を超えるほどまでに上昇し、今もその価格の下落は見せていません。

しかし『金の高騰により、砂金採りに人気殺到している』ということで報道関係の取材も殺到。NHKをはじめフジテレビの『スーパーニュース』、『特ダネ』、TBS『ひるおび!』、テレビ朝日『スーパーJチャンネル』、『モーニングバード』の生中継、県内からもUTY、YBS、NHK甲府の県内ニュース内で放送され、また、山梨日日新聞や読売新聞、毎日新聞、週刊現代にも掲載されました。各メディアで取

り上げられたことが大きく影響し、視聴者が即反応、来館するという好循環で来館者数が増えました。この機会に金山の歴史を知って頂き、また訪れていただけるよう、この楽しい時間を過ごしていただけるようにスタッフ一同、さらに頑張ってお参りますので、是非ご来館ください。



フジテレビ『スーパーニュース』撮影時、体験時に感想を求めらるお客様方。

## 第11回子ども金山探険隊

7月30日(土)～31日(日)

11回目の「子ども金山探険隊」。早くも5月下旬から6月には定員に達し、結果、最も遠くは島根県からと、県内外各地から多くのご家族のご参加をいただき、定員15名の隊員のところ、今年も21人の隊員プラス保護者の皆さんと、未知の体験を二日間楽しんでいただきました。

今年の目玉は1日目の現地見学。今年の登山コースの目的地は湯之奥・中山金山採鉱域。探険隊史上、最長コースで、通常見学コースの精錬場から、さらに30分ほど登る所に位置します。苦勞の末、採鉱域まで到達した隊員たちの目は輝いて、坑道の中を楽しそうに到着して見学していました。また、保護者の皆さんも童心に戻ったように坑道見学を楽しみ、後の感想では「普通では、なかなかできない体験をさせてもらった」と、多くの皆さんが述べてくださっていました。

さて、今回のサプライズは2つ。1つは最年少の4歳の男の子が、大人でも音を上げるようなきつい登山をちゃんと最後まで登り切ったこ

と。2つ目は、この日の降水確率60～70%という高確率にもかかわらず、下山するまでの午後3時半くらいまで、ひと雨も降らずに済んだことです。下山してから降り始めた雨のせいで粉成作業は不完全になってしまいましたが、翌2日目は、お待ちかねのオリジナルの甲州金を作る大イベントです。中には、今まで作成した甲州金全部で大きな金粒にしたいという連続参加の隊員もいました。

また、灰吹き作業の合間を縫って、“金色メッキネームプレート作り”もしていただきましたが、こちらは、全行程で二日間ご指導くださった応援団の原澤英美さんが指導してくださり、隊員はもちろん、大人も楽しそうに作業をしていました。

盛りだくさんの甲州金作りを堪能した後の修了式。参加隊員全員に修了証と参加賞が手渡され、最後に記念写真。今年の探険隊もアンケートには、たくさんの感謝の言葉をいただくことも出来て、大成功となりました。登山でご協力いただきました昭和山岳会の皆さま、そして博物館応援団の皆さま、多くの皆さまのお力を借りて、無事に終えることが出来ました。



← 地蔵峠にて記念撮影



← 4歳の男の子。よく頑張りました。

# 第11回砂金掘り大会

8月6日(土) 午前

湯之奥金山博物館の年間最大イベントの砂金掘り大会が8月6日(土)に開催され、174名の方々が県内外からご参加くださいました。参加者の皆さんはじめ、博物館応援団の皆様、町関係者、また、イベント参加者のためにスポーツドリンクをご提供くださったダイドードリンク株式会社様、撮影協力していただいたYBS様、身延山ロープウェイ様、多くの皆様にご協力いただきまして、御礼申し上げます。

ジュニア・初心者・ベテラン部門、全部で9試合を行いました。ジュニア部門1位となったのは県内中学生の藤森大空君、そして男女初心者部門1位は同じく県内甲州市から出場の高校生・小菅章裕君、ベテラン部門1位は山形からおいでくださった佐藤卓生さんでした。ベテラン部門では砂の重量が16kg、競技時間が15分となった変更点もあり、さすがのベテラン選手も、砂鉄とゴロ石たっぷりの砂には悪戦苦闘の様子。そんな中でパーフェクトで1位を獲得したのが佐藤さんでした。この3人の頂上決戦(5分間5kg一本勝負)を制したのは、小菅君。発表までドキドキしていた小菅君、大変嬉しかった様子でトロフィーを胸に帰って行きました。

近年、パンニングレベルが上がっているようで、パーフェクトは非常に多くなってきています。あと必要なのはスピード。様々な要素が加えわる砂金掘り大会ですが、あと一年後の大会、優勝者はアナタかも知れません。是非、鍛錬して来年挑戦してください。

大会結果(ジュニア、男女初心者、ベテラン、頂上決戦)は次表のとおりです。

ジュニア部門 (6粒/6kg)															
No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム
1	藤森大空	6	4.1128	17	木村将之	6	9.3966	33	青嶋あかね	4	8.4933	49	樋口まや	2	8.0277
2	宇野慎介	6	5.0420	18	大木健太郎	4	3.5064	34	中川浩希	3	5.4937	50	笠井景太	1	6.0245
3	村尾光太郎	6	5.3897	19	石原大輝	4	4.1642	35	若林航平	4	9.0704	51	齊藤優馬	0	3.1457
4	山本啓史	6	5.5501	20	池原正法	5	7.2259	36	村松伸二	4	9.2096	52	五味星空	1	6.3514
5	牛島宏樹	6	6.4360	21	河野静香	4	4.2813	37	栗飯原夏樹	4	9.5773	53	村松晴美	2	9.5700
6	奥山夢子	5	4.1454	22	小林直樹	4	4.3303	38	根深なづき	2	4.1600	54	笠井互	1	7.0399
7	堀本秋水	6	7.2022	23	後藤誉延	4	4.4557	39	藤本良太	3	7.1635	55	木下穰	1	8.0555
8	松田朋子	6	7.2111	24	上弥優理	5	7.5349	40	久本創	2	4.3535	56	中沢優菜	1	8.2220
9	大野拓磨	5	4.2828	25	森田健友	5	8.3775	41	上弥陽向	3	7.5003	57	若林大翔	1	9.0910
10	熊谷和弥	5	4.4198	26	中村みゆき	3	3.4357	42	雨宮利佳	1	2.4768	58	並木雄人	1	9.5606
11	真田兼行	5	4.5872	27	加藤知樹	5	10.0000	43	上弥七花	3	9.0331	59	笠井誉紀	0	8.0069
12	上弥菜大	6	8.0573	28	姫野将太郎	4	7.0933	44	西永晃隆	3	9.2916	60	関戸隆太	0	10.0000
13	山下将広	5	5.2100	29	小林周朔	4	7.1057	45	吉田幸弘	3	9.5900	61	松永晃	3	Time over
14	後藤豊香	4	2.4768	30	藤本千太	4	7.4500	46	富田雄介	3	10.0000	62	大塚航平	1	Time over
15	岩間駿斗	4	2.5932	31	屋代大地	4	8.1632	47	下原雄希	3	10.0000	63	内海涼太	0	Time over
16	吉田秀忠	6	9.0393	32	横内龍星	4	8.4080	48	志村瑠伽	2	8.0133				

男女初心者部門 (8粒/10kg)															
No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム
1	小菅章裕	8	4.1045	18	佐々木優子	6	8.0755	35	小田嶋景子	5	9.5890	52	上田一紀	1	9.5600
2	坂下博史	7	3.3208	19	関戸文子	6	9.2083	36	入倉千明	5	10.0000	53	音羽遼太郎	1	9.5743
3	長田翔太	8	6.3351	20	吉田明弘	5	6.2472	37	望月圭介	4	7.3497	54	永田英理子	1	9.5801
4	渡辺清人	8	7.1420	21	桑原佑典	6	10.0000	38	菊池祐子	3	4.5543	55	笠井里香	1	10.0000
5	松永一輝	8	9.1120	22	野中浩	5	7.2830	39	吉田秀子	3	5.2912	56	齋藤香	1	10.0000
6	木村公美	8	9.4000	23	斎藤光孝	4	4.3380	40	渡辺力	4	8.4395	57	茂木優樹	0	10.0000
7	今野雅史	8	9.4627	24	鶴岡寛	5	7.3615	41	内川章	4	9.4200	58	山田知寛	0	10.0000
8	鈴木英哲	7	6.5838	25	宮本一弘	5	8.1985	42	村松裕弥	4	9.4668	59	吉田和生	3	Time over
9	森川涼介	6	4.2959	26	松橋真央	5	8.2089	43	小林祐登	4	10.0000	60	野又優	3	Time over
10	中沢さき子	7	8.2468	27	熊王一貴	5	8.3688	44	下川貴也	3	7.4388	61	山本直樹	2	Time over
11	丸茂智沙	7	8.3375	28	佐藤皓一	5	8.4730	45	河西樹人	3	9.1244	62	笹森一孝	1	Time over
12	河原崎優介	7	9.1919	29	横内宣子	5	8.4905	46	樋口正博	3	9.3403	63	丸山秀聖	1	Time over
13	紙中緑香	7	9.1952	30	井後恭道	3	2.5336	47	伊藤賢造	3	9.4217	64	川上真理絵	1	Time over
14	関戸秀光	7	9.3367	31	荒関健介	5	8.5422	48	奥田義定	3	9.5710	65	辻田真比古	0	Time over
15	湯座二郎	7	9.5651	32	石崎大貴	5	9.0831	49	幸村星哉	3	10.0000	66	幡井亮介	0	Time over
16	五十嵐智則	5	3.6069	33	高須賀桃子	5	9.4411	50	中嶋祐基	2	10.0000	67	塚瀬大規	0	Time over
17	木村睦恵	6	8.0683	34	猪股啓太	5	9.5768	51	吉田直樹	1	9.4914	68	島田泰大	0	Time over

男女ベテラン部門 (12粒/16kg)															
No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム
1	佐藤卓生	12	12.1090	8	本間純	10	9.4060	15	寺嶋浩二	9	12.5009	22	中川清	6	11.4000
2	春山崇	11	9.4080	9	立川梨佳	9	8.1045	16	池田昌久	8	12.4405	23	小林伸	7	14.5968
3	広瀬義朗	12	13.1994	10	成島秀樹	11	14.2384	17	牛島健治	7	10.1862	24	松田智	6	14.4204
4	犬伏弘樹	11	10.4869	11	大森直之	10	12.2194	18	林健治	8	13.2900	25	岩井務	6	15.0000
5	野村敏郎	12	13.5857	12	保坂信一	9	10.4072	19	梶田知美	7	11.5502	26	森岡幸三郎	3	8.5547
6	土屋祐貴	11	11.4031	13	岡田玲子	10	14.3989	20	石田政明	6	10.1907	27	安藤大悟	3	14.5859
7	桑形和樹	12	14.4926	14	木村伸之	8	8.4478	21	近藤直美	4	4.3380	28	三嶋慶彦	4	Time over

頂上決戦 (3粒/5kg)															
No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム				
1	小菅章裕	3	3.4028	2	佐藤卓生	2	3.5689	3	藤森大空	1	2.0730				



# 第8回東西中高交流砂金掘り大会

8月6日(土) 午後

## 2連覇達成！山梨学院大学附属中高チーム

今年の出場校は、首位奪回を狙う常連校・灘（兵庫）、同じく上位浮上を狙う常連校・開成（東京）、砂金掘り大会出場への復活を3年ぶりに果たした海城学園（東京）、かねてから大会に出たいと考えていた初出場・大妻中高（東京）、昨年優勝校で連覇を狙う山梨学院大学附属（山梨）、地元を盛り上げよう・峡南高校（身延町）と全6校。

各校とも、大いに盛り上がった団体戦と、そしてその後をつなぐ個人戦。白熱した学生達のバトルをこの紙面でごく一部しかお伝えできないのが非常に残念ですが、各校学生、非常に頑張りました。灘は第2位を獲得、顧問の野村先生は来年への優勝に向けての抱負を語ってくださいました。また、第3位を獲得したのは初出場的女子軍団・大妻！そして続く峡南、開成、海城と各校大いに健闘しました。



### 第8回東西中高交流砂金掘り大会 団体戦得点表

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
灘	森川涼介 1粒	安藤大悟 1粒	山本啓史 2粒	大野琢磨 2粒	堀本秋水 3粒	真田兼行 2粒	村尾光太郎 2粒	姫野将太郎 2粒	中川浩希 3粒	久本創 1粒
開成学園	大塚航平 1粒	茂木優樹 1粒	加藤知樹 0粒	粟飯原夏樹 1粒	富田雄介 1粒	笹森一孝 1粒	丸山秀聖 1粒	西永晃隆 3粒	下河原雄希 1粒	桑原佑典 3粒
山梨学院	奥山夢子 2粒	熊谷和弥 3粒	後藤穂香 1粒	岩間駿斗 1粒	大木健太郎 3粒	石原大輝 2粒	池原正法 2粒	河野静香 2粒	小林直樹 3粒	後藤誉延 3粒
大妻	永田英理子 0粒	紙中緑香 2粒	高須賀桃子 1粒	児玉裕美 2粒	戸田遥香 1粒	松枝芽美 2粒	島田愛梨 2粒	石丸瑛理 2粒	加藤茉椰華 2粒	中村菜鳩菜 1粒
海城学園	遊座二郎 1粒	幡井亮介 4粒	荒関健介 2粒	塚瀬大規 2粒	音羽遼太郎 2粒	吉田直樹 2粒	奥田義定 3粒	山田知寛 1粒	幸村星哉 2粒	嶋田泰大 1粒
峡南	河原崎優介 2粒	猪股啓太 1粒	入倉千明 2粒	望月圭介 3粒	上田一紀 2粒	宮川幸司 3粒	河原崎優介 3粒	猪股啓太 3粒	入倉千明 1粒	望月圭介 0粒

学校名	11	12	13	14	15	16	採取金粒合計	総合成績(分秒)	獲得点	BP(0.5P)	合計得点
灘	三嶋慶彦 2粒	村尾光太郎 2粒	山下将広 2粒	山本啓史 1粒	宇野慎介 4粒	桑形和樹 4粒	32粒 25,54.41	32粒/2位 49,54.41	25点	2点	27点
開成学園	齋藤 敦 2粒	内海涼太 0粒	松永 晃 0粒	並木 雄人 2粒	森田健友 2粒	今野雅史 4粒	23粒 29,06.06	23粒/5位 80,06.06	10点	0点	10点
山梨学院	中村みゆき 1粒	小林周朔 2粒	佐藤皓一 3粒	松橋真央 4粒	斎藤光孝 2粒	丸茂智沙 2粒	35粒 29,12.16	35粒/1位 44,12.16	30点	0点	30点
大妻	米田真由 1粒	保科香織 1粒	小林那奈 1粒	田口りか 2粒	濱野美月 2粒	宮澤 瑛 2粒	26粒 28,39.62	26粒/4位 70,39.62	15点	0.5点	15.5点
海城学園	吉田和生 2粒	中嶋祐基 1粒	小林祐登 1粒	石崎大貴 0粒	野又 優 0粒	中嶋祐基 2粒	23粒 30,00.00	23粒/6位 81,00.00	5点	0点	5点
峡南	上田一紀 0粒	宮川幸司 2粒	河原崎優介 3粒	猪股啓太 2粒	入倉千明 0粒	望月圭介 3粒	29粒 30,00.00	29粒/3位 63,00.00	20点	0点	20点

### 第8回東西中高交流砂金掘り大会 個人戦得点表

学校名	先鋒(5粒)	次鋒(6粒)	中堅(3粒)	副将(3粒)	大将(8粒)	合計得点	順位
灘	三嶋慶彦 4点 8:18:35 2粒	宇野慎介 10+1=11点 6:08:66 5粒	安藤大悟 4点 14:15:62 4粒	桑形和樹 6点 9:43:06 3粒	森川涼介 10点 8:09:34 8粒	35点	3位
開成学園	粟飯原夏樹 3点 15:52:56 1粒	加藤知樹 5点 10:29:15 4粒	森田健友 7+1=8点 6:40:52 7粒	桑原佑典 4点 12:13:02 3粒	今野雅史 5点 10:15:36 7粒	25点	5位
山梨学院	立川梨佳 10+1=11点 2:28:25 3粒	鈴木英哲 7+1=8点 7:45:30 5粒	長田翔太 10+1=11点 5:29:36 7粒	小林 伸 7+1=8点 6:50:74 5粒	土屋祐貴 3点 16:57:27 5粒	41点	1位
大妻	川上真理絵 7+1=8点 4:06:43 3粒	永田英理子 4点 10:33:46 4粒	小田嶋景子 6点 8:26:68 6粒	高須賀桃子 10+1=11点 5:50:19 5粒	紙中緑香 6点 10:09:18 7粒	35点	2位
海城学園	山田知寛 5+1=6点 7:05:12 3粒	中嶋祐基 3点 19:58:53 1粒	音羽遼太郎 3点 19:59:39 3粒	吉田直樹 3点 13:25:17 3粒	遊座二郎 7点 9:32:41 8粒	22点	6位
峡南	猪股啓太 6+1=7点 8:12:43 3粒	宮川幸司 6点 8:57:79 3粒	望月圭介 5点 10:31:64 6粒	入倉千明 5点 10:50:11 3粒	河原崎優介 4点 13:54:77 7粒	27点	4位

### 総合成績

学校名	団体戦得点	団体戦順位	個人戦得点	個人戦順位	ボーナス得点	総合得点	総合順位	個人賞
灘	27点	2位	35点	3位		62点	2位	新人賞 森田健人(開成学園)
開成学園	10点	5位	25点	5位		35点	5位	MVP 立川梨佳(山梨学院)
山梨学院	30点	1位	41点	1位		71点	1位	
大妻	15.5点	4位	35点	2位		50.5点	3位	
海城学園	5点	6位	22点	6位		27点	6位	
峡南	20点	3位	27点	4位		47点	4位	

団体戦は30分間の制限時間。1人/3kgを1チーム16人でのルー方式でバンニングする。チーム全体で40粒の砂金が入っているが、どのバニに何粒砂金が入っているかは分からない。団体戦では1位=30点、2位=25点、3位=20点、4位=15点、5位=10点、6位=5点。残り時間1分につき、0.5点のボーナスポイントが加算される。個人戦では各チーム5人選抜、1人/6kg、制限時間8分、先鋒戦から大将戦まで5試合行う。1位=10点、2位=7点、3位=6点、4位=5点、5位=4点、6位=3点獲得できる。個人戦の場合はパーフェクトだった場合、BP1点を加算される。団体戦、個人戦で獲得した総獲得点数で順位を決定する。

# 館からお知らせ①

## 平成23年度公開講座 講演内容決定

平成23年度公開講座のテーマおよび日程・講演内容が次のように決定いたしました。10月～来年2月までの各月1回ずつ、全5回の講義となります。各回とも午後2時から4時（質疑応答を含む）です。

文献の乏しい古代から中世にかけての金山史の空白を埋めていく大切な積み重ねの公開講座。今年度のテーマは、「“黄金の国ジパングの謎解き” 8～16世紀の産金地を追って」です。各方面・分野でご活躍の先生方から、最新の研究情報や現状を聞くことが出来る絶好の機会。今年度も多くの方のご聴講をお待ちしております。お誘い合わせのうえ、ご来館ください。

また、これら講演会の記録をまとめた『金山史研究』も続々刊行・販売しております。金山史研究について、全国的にも数少ないまとまった資料です。合わせてお手にとってご覧ください。

平成23年度公開講座			
黄金の国ジパングの謎解き 8～16世紀の産金地を追って			
通算回	期 日	演 題	講 師 名
第71回	10月29日(土)	「湯之奥 3 金山の測量調査からみた金山の概要」	テクノプランニング株式会社 もりや 森 谷 忠
第72回	11月26日(土)	「文献から見た古代の産金史」	学習院大学文学部教授 かねがえ 鐘 江 宏 之
第73回	12月17日(土)	「岩手県内・宮城県北の産金地」	宮城県南三陸ふるさと研究会事務局 鈴木 卓 也
第74回	2012年 1月21日(土)	「砂金採集の道具の変遷 古代～近代、西洋・東洋・日本」	灘高等学校中学校地学科教諭 東亜天文学会理事 野村 敏 郎
第75回	2月4日(土)	「下野国（八溝山）の初期産金地」	しもつけ風土記の丘資料館学芸員 しんぼ 真 保 昌 弘

時 間：各回とも午後2時～4時（質疑応答を含む）

場 所：博物館1階多目的ホール

※今年度より資料代として1講義につき100円頂戴させていただきます。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

## エントランスカウンターに新たに展示。金鉱石をご寄贈いただきました

このたび、大森直之様（東京都練馬区在住）より、群馬県天沼鉱山の金鉱石をご寄贈いただきました。多くの方に見ていただければと、およそ15キロもの重量で現場搬出の苦労話もあるこの金鉱石は、肉眼で金粒が見える珍しいタイプ。エントランスカウンターに、この夏より展示公開しています。誰もが分かりやすいようにピンクの矢印シールで金粒が指示してあります。夏休みに来館された多くの皆様が、「本当だ、見える見える」「こんなに小さいんだ」「砂金もこんなに小さいの？」思い思いの感想を口にしながら、受付でのちょっとした待ち時間を、この金鉱石で楽しんでくださっています。ご来館の際は、是非ご覧ください。



# 館からお知らせ②

10月からの開館時間：午前9時～午後5時（受付は午後4時30分まで）

休館日：毎週水曜日（祝日に当たる場合はその翌日）

- 10月から冬時間となり、閉館時間がこれまでより1時間早まります。また、今年の11月23日(水)は祝日のため開館、翌24日(木)は振替休館日となります。お間違えのないよう、ご来館ください。
- 11月20日(日)は「山梨県民の日」です。この日に限り、常設展示観覧（通常大人500円、中学生400円、小学生300円）を無料とさせていただきます。また、砂金採り体験も、どなた様も1割引料金でお楽しみいただけます。特に博物館へ訪れたことがないという山梨県民の皆様、この機会にぜひ、当館へご来館ください。

## 親子映画観賞会

**期 日** 平成23年10月22日(土) 午後6時～7時50分迄  
**上映作品** 「ドラえもん～のび太の日本誕生」(観賞無料・要申込)  
**場 所** 湯之奥金山博物館 2階 映像シアター (定員85人)

## 博物館日誌 (平成23年6月～9月)

9月	8月	7月	6月
8日(木)	31日(日)	9日(月)	9日(木)
7日(水)	1日(日)	2日(火)	8日(水)
31日(木)	4日(水)	30日(月)	15日(水)
29日(水)	3日(火)	29日(日)	14日(火)
27日(月)	2日(月)	28日(土)	13日(月)
26日(日)	1日(日)	27日(金)	12日(日)
25日(土)	31日(土)	26日(木)	11日(土)
23日(木)	30日(金)	25日(水)	10日(金)
22日(水)	29日(木)	24日(火)	9日(木)
18日(土)	28日(水)	23日(月)	8日(水)
17日(金)	27日(火)	22日(日)	7日(火)
16日(木)	26日(月)	21日(土)	6日(月)
15日(水)	25日(日)	20日(金)	5日(日)
11日(土)	24日(土)	19日(木)	4日(土)
9日(木)	23日(金)	18日(水)	3日(金)
	22日(木)	17日(火)	2日(木)
	21日(水)	16日(月)	1日(水)
	20日(火)	15日(日)	
	19日(月)	14日(土)	
	18日(日)	13日(金)	
	17日(土)	12日(木)	
	16日(金)	11日(水)	
	15日(木)	10日(火)	
	14日(水)	9日(月)	
	13日(火)	8日(日)	
	12日(月)	7日(土)	
	11日(日)	6日(金)	
	10日(土)	5日(木)	
	9日(金)	4日(水)	
	8日(木)	3日(火)	
	7日(水)	2日(月)	
	6日(火)	1日(日)	
	5日(月)		
	4日(日)		
	3日(土)		
	2日(金)		
	1日(木)		

## 編集後記

今夏のキーワード「節電」。博物館も大分節電しましたが、さすがに夏の大混雑時にこれまでと同じ節電をしていたら、お客様が館内で熱中症になってしまう危険が！設定温度は抑えめに冷房稼働していましたが、誰一人として暑い！という文句を言うことなく、お客様のご理解とご協力のおかげで、灼熱の8月をのりきること

が出来ました。ありがとうございました。  
 そんなわけで良くも悪くも“我慢”という精神力が、全体的に養われたような気もしますが、夏が終わり季節は秋へ。  
 秋と言えば“味覚の秋”。夏バテで喉を通らなかった食べ物がスルスルと体内へ…。おっと、ここでこそ夏に培った“我慢”の発揮のしどころ。でないと、鏡を見ることが出来ない恐ろしい結末が…。

**博物館だより 第58号 平成23年9月14日**  
 〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 電話 0556-36-0015 FAX 0556-36-0003  
 博物館HPアドレス [http://www.town.minobu.lg.jp/local\\_minobu/kinzan/index.html](http://www.town.minobu.lg.jp/local_minobu/kinzan/index.html) 博物館Eメールアドレス [yunoking@town.minobu.lg.jp](mailto:yunoking@town.minobu.lg.jp)